



ひまわりが人と時間をつなぐ

副校長 片岡ひかり

ひまわりは英語でサンフラワーです。夏休み明けの学校をひまわりのように明るく前向きに過ごしてほしいと願い、今年度は、少し遅めの夏休み直前の7月に植えました。ガーデンサポーターの山本さんに教えていただき、環境委員会の児童と学校支援ボランティアの皆さんと協働して植えました。

夏休みまでの期間、炎天下の中でも環境委員会の児童は、中休みに熱心に水遣りをしていました。学校支援ボランティアの皆さんも暑い中、隅々まで雑草を抜いてくださいました。ガーデンサポーターの方は夏休にも雑草抜きもしてくださいました。

そんな皆さんの頑張りに、ひまわりはちゃんと応えてくれました。夏休み明け、見事に咲き誇りました。環境委員会のある児童の振り返りには「夏休みが終わって学校に来た時、ひまわりが咲いていました。とてもきれいで心がうれしくなりました。」と記入されていました。学級目標が「向日葵」のクラスは満開の花の前でクラス写真を撮っていました。彼らの笑顔は眩しかったです。



みんなを笑顔にしたひまわりも、10月に入って枯れてしまいました。でも次年度に向けて、環境委員会の児童は種を収穫しています。こうしてひまわりを介した笑顔が人と時間を繋いでいきます。まさに、学校目標の「かがやこう! にじいろのえがお つながる白根」を体現した活動です。花壇は、11月に、菜の花、ビオラなど冬の花に衣替えです。どんな笑顔の物語になるのでしょうか。楽しみです。